

《大阪城周辺地区》の緑化等の方針（案）

地区の概況

大阪城公園の緑や寝屋川、大川など豊かな自然環境に恵まれるだけでなく、大阪城や難波宮跡などの歴史資源も多く存在する。また、公園周辺の交通インフラも充実しており、各駅のターミナル周辺では業務系、商業系などの都市機能が多く集積している。近年では、大阪城公園の魅力向上の取組みにより多くの外国人観光客でにぎわっている。本地区では、大阪城公園や難波宮跡公園など一定のみどりが存在する【大阪城エリア】と大阪城エリアを囲むエリアを地域特性ごとにみどりの状況やまちづくりの現況が異なる3つのエリア【京橋・OBPエリア】、【森ノ宮エリア】【天満橋・大手前エリア】に設定した。

みどりの現況

＜大阪城エリア＞

大阪城公園、難波宮跡公園などにより、緑豊かな空間を形成している。大阪城公園には多くの樹木（木本類で約240種、約26,500本※1）が植樹され、生き物（鳥類119種、昆虫類433種など※2）の貴重な生息の場となっている。※1 大阪城公園樹木調査(H18) ※2 大阪城公園生き物調査 (H20)

＜京橋・OBPエリア＞

OBPエリアは、公開空地や建物外構部に多くの緑が創出され、街路樹の緑と一体となり、みどり豊かな街路景観が創出されている。京橋エリアでは、京橋公園や街路樹等が一部あるものの、建物が高密度に立地しており平面的な緑が少ない。

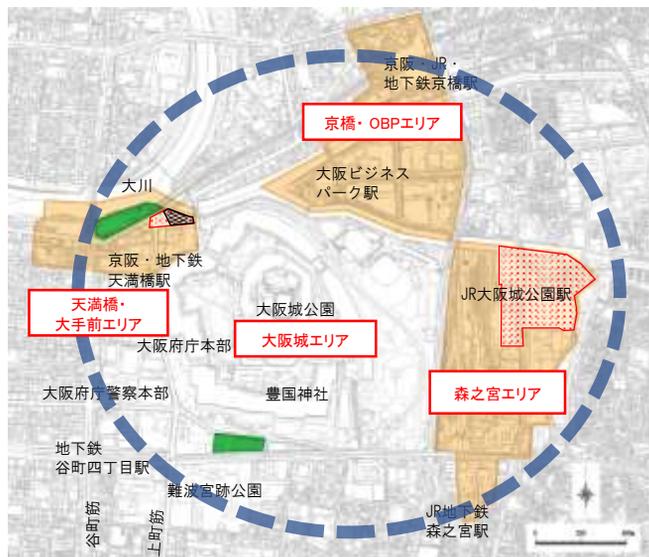
＜森ノ宮エリア＞

団地内には公園等が一定存在するものの、大規模な低未利用地が存在しており、緑やオープンスペースは全体的に少ない。

＜天満橋・大手前エリア＞

庁舎等の建物が高密度に建てられており、まとまった緑やオープンスペースが少ない。

地区計画 都市再生緊急整備地域
都市再生特別地区 特定街区



大阪城周辺地区の位置図

基本方針

大阪都心部最大のみどりを活かした緑景観の維持・保全と大阪城公園を核とした周辺へのみどりの波及

個別方針1 上町台地北端に残る貴重な「みどり」の保全育成

- (1) 大阪の歴史・文化を感じられる風格のあるみどり
- (2) 防災拠点の機能を最大限発揮できるよう災害に強く健全なみどり
- (3) 生き物の生息・生育空間の拠点となる自然環境豊かなみどり

個別方針2 各エリアの地域特性を踏まえた「みどり」の創出

- (1) 歴史資源を活用し大阪の価値を高めるみどり
- (2) 高密度な都市機能における都市活動を支える快適なみどり
- (3) 多世代・多様な人が集い交流を育む豊かなみどり
- (4) 水都大阪にふさわしい水辺を活かしたみどり
- (5) 官庁街にふさわしいゆとりのある空間と品格のあるみどり

個別方針3 大阪城公園を核とした周辺への「みどり」の波及

- (1) 大阪城公園と各エリア間のみどりのネットワークの構築による回遊性の向上
- (2) 大阪城公園周辺の各エリアにおける緑化の推進
- (3) 上町台地や大川などつながり生き物の移動空間となる水辺と緑の保全